



平成31年1月4日

各 位

上場会社名 株式会社 岡山製紙
 代表者 代表取締役社長 津川 孝太郎
 (コード番号 3892)
 問合せ先責任者 取締役管理統括部長 妻鹿 徹
 (TEL 086-262-1101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年9月28日に公表した平成31年5月期第2四半期累計期間の業績予想並びに平成30年7月13日に公表した平成31年5月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年6月1日～平成30年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	360	400	280	56.82
今回修正予想(B)	5,211	528	570	394	79.95
増減額(B-A)	311	168	170	114	
増減率(%)	6.3	46.7	42.5	40.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年5月期第2四半期)	4,502	△156	△119	△86	△17.66

平成31年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	360	400	280	56.82
今回修正予想(B)	10,300	555	600	420	85.23
増減額(B-A)	800	195	200	140	
増減率(%)	8.4	54.2	50.0	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年5月期)	9,070	35	78	43	8.92

修正の理由

平成31年5月期第2四半期累計期間の業績につきまして、板紙事業において段ボール製品の需要の高まりや、原紙需給のひっ迫化、前期から取り組んできました製品価格改定がほぼ浸透したことの影響で増収となる見込みです。

また、原料古紙について中国向け輸出が規制された影響で国内の古紙流通量が増加し、価格が下落したことで計画より原料費が減少し、利益を押し上げる要因となりました。この結果、利益につきましては、予想数値を大きく上回る見込みとなりました。

平成31年5月期通期の業績につきましては、第2四半期累計期間までの業績を反映して当初予想を大きく上回る見込みです。売上高については、板紙製品の販売価格の再改定を実施しており、その影響で一層の上昇が見込まれますが、中国向け輸出が増加した影響で原料古紙価格が高騰していることや、燃料価格も上昇していることから、第3、第4四半期会計期間における利益の確保は難しいと予想しております。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上